

卒業にあたって

電子制御工学科5年 大畑 直樹

「光陰矢のごとし」

本当にこの言葉がぴったりな5年間でした。学生生活が終わろうとしているのに、入学式も最近の出来事のように感じます。思い返せば5年間、課外活動に付きっ切りでした。課外活動に賭けた5年間だったといっても過言ではありません。学生会執行部とロボコンという2つの課外活動を続けてきましたが、よく5年間両立できたのだと我ながら驚いています。どちらの仲間にも迷惑をかけた事は間違いないと思います。それでも、どちらもやめることなく続けられたのは、本当に良い仲間達を持っていたからだと思います。

5年間様々なことがありました。眠たくて、全国にいけなくて、とにかく辛くて気力だけで乗り切ったロボコン近畿地区大会翌日のスポーツ大会。1日終わるごとに、地区大会を想像して少し憂鬱な気持ちになった卒業旅行。卒業旅行後は地区大会会場の舞鶴に直行することになり4泊5日の大旅行。優勝を目指して、全国最速タイムもマークしたのに、ベスト8止まりでとても悔しかった全国大会。優勝できなかった落胆の方が大きく、あまり嬉しくなかったアイデア賞。学生会でもまだまだやりたいことがありました。できるなら、もう一度チャレ



ンジしたい。しかし、時間の制約だけはどうにもなりません。ロボコン全国優勝と学生会の変革は後輩達がきつとやり遂げてくれると信じています。

2つの団体に所属し、ここに書ききれない程多くの貴重な体験をさせて頂きました。入学時には、全国大会での優勝争いも学生会長もできるとは思っていませんでした。これほどまで充実した、密度の濃い5年間を過ごせるとはとても想像していませんでした。本当に素晴らしい5年間でした。奈良高専電子制御工学科に入学して正解でした。

最後になりましたが、5年間御指導して下さった先生方、技術職員・事務職員の皆様、卒業された先輩方、苦楽をともにした同級生、部活動の後輩達など様々な方に書き切れない程お世話になりました。本当にありがとうございました。

情報工学科5年 小林 靖幸

これを書くにあたって、ふと何で自分は高専に行こうと思ったのか思い出してみた。確か、コンピュータが自由に使えるらしい、スゲーとか思って、高専を受験しようなどと思っていた気がする。皆さんはどうですか？ どうして高専に行こうと思いましたか？ あのとき抱いていた夢は実現できましたか？

思えば、この5年間いろんなことがありました。学校では、何を言っているのか全くわからない授業を頑張って理解しようとし、実験とレポートには相当苦しめられました。友人たちとは馬鹿なことばかりやり、家では家族に迷惑をかけ続け、その他公私ともに大迷惑なことばかりやってきた5年間だったような気がします。

その中で、インターネットを通じて他高専の学生やOB・OGの方々と交流を持つことができ、そして高専カンファレンス(“高専生とその卒業生によるプレゼン型技術勉強会です。IT、工業デザイン、経営、物理、化学など多様性に富む発表を通じて若い技術者の育成や交流を促進し、高専および科学技術分野の発展を目指します。” <http://kosenconf.jp/>より引用)との出会いがありました。そして、5年の夏という変な時期に友人たちと奈良高専でも



高専カンファレンスを行うことができました。

このような交流を持って、やっぱり高専生というのは技術的な意味で変態の集まりだし、それに触れることで自分を高めようと思えるようになると思います。そこで一つ提案を。学校内勉強会やったらどうですかね？内容は自分が学んできたこと・趣味のことなどどんなことでも良いと思います。発表内容から刺激を得られる。同じ学校にいながら全く交流がなかった人とも交流が持てるかもしれない。卒研発表などの練習にもなる。一石三鳥ですよ。ってことで、提案するだけして逃げます(笑)

最後に、この5年間ご指導いただいた先生方、ともに支え合ったクラスメイト、その他奈良高専でお世話になったすべての方々に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。